

一、底本には、川口久雄氏が岩波古典文学大系本に採られている、「前田家尊経閣所蔵本」を用いた。ただし読解上、底本と異なる字句を用いた箇所がある。

一、原詩のみ正字で載せ、訓読・語釈・通釈等は通行の新体字を用いた。

一、訓読文の仮名遣いは、歴史的仮名遣いに統一し、送り仮名を必要に応じて補い、出来るだけ平易な読みになるよう心掛けた。

一、旧字・異体字は原則として新体字に直したが、一部底本のままの字を使用したところがある。

一、注釈に当たり、菅原道真の『菅家後集』の作品番号は、川口久雄校注、岩波日本古典文学大系本のそれになり、参考として引用した嶋田忠臣の『田氏家集』の作品番号は、内田順子編『田氏家集索引』に拠り、紀

長谷雄の漢詩文の作品番号は、三木雅博編『紀長谷雄漢詩文集並びに漢字索引』に拠った。また白居易の『白氏文集』の作品番号は花房英樹著『白氏文集の批判的研究』のそれにならった。